

東ブロックふれす

みんなで支え合い、安心して暮らせる 東ブロック！！

創刊号

R2. 7. 1

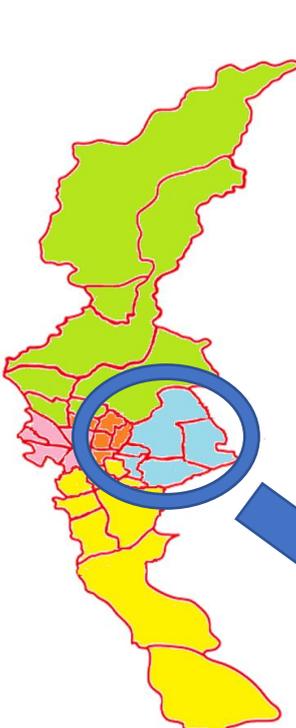
甲府市社会福祉協議会
地域福祉推進課

相生2丁目17-1

電話：055-225-2118

今年度より、東ブロックの地区社協の活動や皆様のお役に立つ情報を紹介する「東ブロックふれす」を発行します！！

創刊号の今回は東ブロックの各地区社会福祉協議会の会長の皆様と地域の様子をご紹介します。



<p>琢美地区 磐上 教道 会長</p>  <p>市立図書館</p>	<p>人口 3,646人 自治会数 18 高齢化率 40.0% 福祉推進員数 21人 サロン数 2サロン</p>
---	--

<p>里垣地区 市川 次男 会長</p>  <p>善光寺</p>	<p>人口 8,037人 自治会数 27 高齢化率 28.3% 福祉推進員数 28人 サロン数 4サロン</p>
--	--

<p>甲運地区 寺田 幸子 会長</p>  <p>大蔵経寺山からの景色</p>	<p>人口 6,201人 自治会数 5 高齢化率 28.9% 福祉推進員数 8人 サロン数 0サロン</p>
---	--

<p>東地区 中田 康成 会長</p>  <p>熊野神社</p>	<p>人口 5,601人 自治会数 14 高齢化率 34.3% 福祉推進員数 16人 サロン数 2サロン</p>
--	--

<p>玉諸地区 奥山 美彦 会長</p>  <p>玉諸神社</p>	<p>人口 12,715人 自治会数 15 高齢化率 20.6% 福祉推進員数 28人 サロン数 7サロン</p>
---	---



地区社協や福祉推進員をはじめとする、地域の団体による地域福祉活動やいきいきサロンを通して、支え合いの地域づくりを進めていただいています。

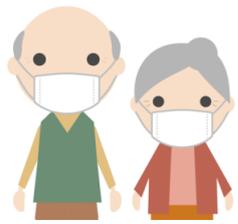
現在は、新型コロナウイルス感染拡大により、地域の様々な活動を行うことが難しい状況ではありますが、電話や慰問品の配付を通じた見守り活動をしていただいております。

コロナ禍での地域福祉活動 ～距離は遠くても、気持ちは近くに～

新型コロナウイルス感染症拡大により、これまで皆様が取り組んでいた地域の活動や会議の中止が相次ぎ、不安や戸惑いを感じておられることと思います。山梨県は、5月14日に緊急事態宣言は解除はされましたが、新型コロナウイルスが完全になくなった訳ではなく、これまでのような地域を行うことが難しくなっています。

コロナ禍の状況だからこそ、皆様の今までの活動が途切れることなく、そして地域とのつながりを無理なく継続していくために、今何が出来るのかを皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

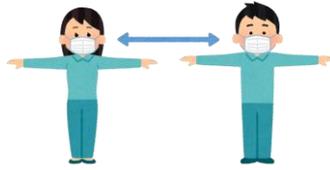
◇地域で活動を再開する際の留意点



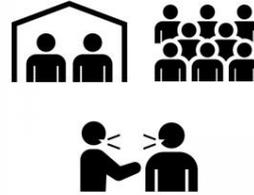
マスクの着用



手洗い・消毒の徹底



人との距離を保つ
(ソーシャルディスタンス)



三密を避ける



十分な換気

◇コロナ禍での地域福祉活動の実践例

- ・電話や手紙を使った見守り、玄関の外やインターフォンでの会話をする訪問
- ・家でできる体操や脳トレなどの資料配布
- ・対面で話す場合は、マスクを着用し約2mの間隔を開けて長時間の会話は避ける
- ・人数の縮小、時間を短縮しての会議・イベント等の開催

既実践している地域での活動の工夫などございましたらお聞かせください。
また、活動方法でお困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。

今年の夏は **熱中症** にご注意を!!

まもなく、暑い夏の季節を迎えようとしています。感染症予防で、マスク着用が必要となっていますが、そのことによって熱中症の危険性も増えています。外出や運動をする際は、人との距離を十分に保った上で、適宜マスクを外して、早めの水分補給や休憩をするようにしてください。

特に、高齢者、子どもは熱中症になりやすいと言われています。
周囲の皆様からの注意喚起をお願いします。



ブロック担当者紹介・ごあいさつ

東ブロック担当の片岡秀元（かたおか しゅうがん）と申します。
市社協入社4年目、東ブロック担当となって3年目になりました。
皆様の地域福祉の推進のお手伝いをさせていただきます。

右下の図は、題字の背景に使っている文様で、七宝繋ぎ（しっぽうつなぎ）といいます。円がたくさん描かれていることから、人の「縁」の円満や物事の繁栄という意味があります。また、隣り合う円が互いの一部分になっており、補い合っています。この七宝繋ぎの「円」のような、人との「縁」で、お互いに支え合うことのできる地域づくりのお手伝いができればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



七宝繋ぎ（しっぽうつなぎ）